

上映スケジュール CALENDRIER

会場／シネ・ヌーヴォ

6月24日(土)	16:40	スザンヌ Suzanne(94分) ※上映後、監督によるティーチインあり suivi d'une rencontre avec la réalisatrice
7月1日(土)	18:40	ポリーナ、私を踊る Polina, danser sa vie(108分)
7月2日(日)	18:40	肉体の学校 L'École de la chair(103分)
7月3日(月)	18:35	チェイサー Mort d'un pourri(124分)
7月4日(火)	18:40	落穂拾い Les Glaneurs et la glaneuse(82分)
7月5日(水)	18:40	パリ18区、夜 J'ai pas sommeil(109分)
7月6日(木)	18:35	暗くなるまでこの恋を La Sirène du Mississippi(123分)
7月7日(金)	18:40	セザンヌと過ごした時間 Cézanne et moi(114分)

★入場料金：一般 1300円、シニア 1100円、学生 800円、会員／クラブ・フランス会員 800円

★チケット販売開始時間：当日、開館時より販売

(当日券のみ、前売券の販売はございません / 整理番号でのご入場・全自由席)



シネ・ヌーヴォ 大阪市西区九条1丁目20-24

Tel : 06-6582-1416 www.cinenouveau.co.jp

○地下鉄中央線「九条駅」6号出口徒歩3分

○阪神なんば線「九条駅」2番出口徒歩3分

会場／京都シネマ

6月25日(日)	20:00	スザンヌ Suzanne(94分) ※上映後、監督によるティーチインあり suivi d'une rencontre avec la réalisatrice
7月8日(土)	19:40	ポリーナ、私を踊る Polina, danser sa vie(108分)
7月9日(日)	19:40	肉体の学校 L'École de la chair(103分)
7月10日(月)	19:40	素顔のルル Lulu, femme nue(87分)
7月11日(火)	19:40	落穂拾い Les Glaneurs et la glaneuse(82分)
7月12日(水)	19:40	パリ18区、夜 J'ai pas sommeil(109分)
7月13日(木)	19:40	暗くなるまでこの恋を La Sirène du Mississippi(123分)
7月14日(金)	19:40	チェイサー Mort d'un pourri(124分)

★入場料金：一般 1300円、シニア 1100円、学生 800円、京都シネマ会員／クラブ・フランス会員 800円

★チケット販売開始時間：当日、開館時より販売

※開場時間は劇場までお問い合わせください ※当日券のみ、前売券の販売はございません ※本編開始後のご入場はおことわりいたします
※整理番号順でのご入場・全席自由席 ※場内でのお食事はご遠慮ください



京都シネマ 京都市下京区烏丸通四条下る
西側COCON烏丸3F

Tel : 075-353-4723 www.kyotocinema.jp

○阪急烏丸線「烏丸駅」23番出口スグ

○市営地下鉄「四条駅」2番出口スグ

主催：アンスティチュ・フランセ日本 共催：シネ・ヌーヴォ、京都シネマ 特別協力：ユニフランス
フィルム提供及び協力：スター・チャンネル、セテラ・インターナショナル、シネマリス、マーメイドフィルム、東京国立近代美術館フィルムセンター、ボニー・キャニオン、
ピラミッド・インターナショナル、東北新社、ザジフィルムズ

Organisé par l'Institut français du Japon / co-organisé par Ciné Nouveau, Kyoto Cinema / avec le soutien d'Unifrance

Merci à Star Chanel, Cetera International, Ciné tamaris, Mermaid Film, National Film Center, Pony Canyon, Pyramide International, Tohokushinsha, Zazie Films.

お問い合わせ：アンスティチュ・フランセ関西一京都

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町8 Tel : 075-761-2105 Fax : 075-761-2106 E-mail : kansai@institutfrancais.jp

アンスティチュ・フランセ関西一大阪

〒530-0041 大阪市北区天神橋2-2-11 阪急産業南森町ビル9階 Tel : 06-6358-7391 Fax : 06-6358-7393 E-mail : kansai.osaka@institutfrancais.jp

フランス映画祭関連企画

25周年をお祝いし、今年、本祭で上映される監督たちの他作品を特別上映。

6月27日(火) 17:30(開場17:00)

会場：同志社大学寒梅館クローバーホール

入場無料

主催：同志社大学今出川校地学生支援課 tel 075-251-3270



2017年6月24日(土)25日(日) 7月1日(土)～14日(金)

会場：シネ・ヌーヴォ、京都シネマ

特別ゲスト：カテル・キレヴェレ (映画監督)

Les 24, 25 juin et du 1er au 14 juillet
au Ciné Nouveau et au Kyoto Cinema
Invitée spéciale : Katell Quillévéré



Festival du film
français au Japon

INSTITUT
FRANÇAIS
アンスティチュ・フランセ関西
JAPON-KANSAI



centre national
du cinéma et de
l'image animée



Festival du film français au Japon

今年で記念すべき25回目を迎える日本におけるフランス映画祭をお祝いすべく、若い才能を発見できる新作、そして過去上映作品の中から選りすぐってお届けします。特別ゲストには、その美しさと才能で一躍フランス映画の注目の的となり、新作『あさがくるまえ』が今年、日本公開予定のカテル・キレヴェレをお迎えし、監督第二作『スザンヌ』を上映します。団長として来日するフランス映画の永遠の大輪の花、カトリーヌ・ドヌーヴの代表作の一本『暗くなるまでこの恋を』、そして今年でデビュー60周年を迎えるフランス映画史上唯一無二の俳優であるアラン・ドロン主演の『チェイサー』を両作品デジタル・リマスター版でお届けします。

上映作品紹介 Programme

※全作品日本語字幕付

◆フランス映画最新作 Avant-première

ポリーナ、私を踊る Polina, danser sa vie de Valérie Müller et d'Angelin Preljocaj



© Carole Bethuel - Everybody on Deck

[2016年／フランス／108分／デジタル／カラー]
監督：アンジュラン・ブレルジョカージュ、ヴァレリー・ミュラー
出演：アナスタシア・シェフツォワ、ニールス・シュナイダー、ジェレミー・ベランガール、ジュリエット・ビノシュほか
配給：ボニーキヤニオン *秋、シネ・リープル梅田、京都シネマ、シネ・リープル神戸にて公開

ダンスを人生の道標とした 一人の少女の輝く成長物語。

ポリショイ・バレエ団のバレリーナを目指すロシア人の女の子ボリーナは、厳格な恩師ボジンスキーのもとで幼少の頃から鍛えられ、将来有望なバレリーナへと成長していく。かの有名なボリショイ・バレエ団への入団を目前にしたある日、コンテンポラリーダンスと出会い、全てを投げうってフランスのコンテンポラリーダンスカンパニー行きを決める。ダンスを通して喜びや悲しみ、成功と挫折を味わい成長していく少女。彼女が見つけた自分らしい生き方とは…。ボリーナ役には本作で映画初出演となるアナスタシア・シェフツォワ、コンテンポラリーダンスカンパニーの振付家の役にジュリエット・ビノシュ、さらにパリ・オペラ座エトワールのジェレミー・ベランガールらが出演。

セザンヌと過ごした時間 Cézanne et moi de Danièle Thompson



© 2016 - G FILMS - PATHÉ - ORANGE STUDIO - FRANCE 2 CINÉMA - UMEDIA - ALTER FILMS

[2016年／フランス／114分／デジタル／カラー]
監督：ダニエル・トンプソン 出演：ギヨーム・カネ、ギヨーム・ガリエンヌほか
配給：セテラ・インターナショナル *9月～シネ・リープル梅田、京都シネマ、シネ・リープル神戸にて順次公開

南仏プロヴァンス、そしてパリ 名画に隠された文豪ゾラとの友情

ポスト印象派の巨匠セザンヌと『ナナ』『居酒屋』の文豪ゾラ。エクス＝アン＝プロヴァンスで出会い、幼いころから夢を語り合ったふたり。やがてゾラはパリに出て、新聞の評を書きながら小説家として成功を収める。一方、セザンヌも画家を目指してパリで絵を描き始め、サロンに挑むが落選続々。栄光を手にしたゾラと、心を閉ざしていくセザンヌ。そして、ゾラの別荘で久しうぶりに再会したふたりは、「ある画家」をモデルにしたゾラの新作を巡って論議となる…。セザンヌ役は『不機嫌なママにメルシイ』でセザール賞作品賞など主要5部門受賞のギヨーム・ガリエンヌ。ゾラ役を『戦場のアリア』の実力派ギヨーム・カネが熱演。セザンヌの縁の地で撮影を敢行、プロヴァンスの美しい光を捉え、名画の世界へと誘う。運命的な絆が生んだ、深い友情と創造の奇跡に心打たれる感動作。

◆特別ゲスト カテル・キレヴェレ作品 特別上映 Projection spéciale en présence de Katell Quillévéré

スザンヌ Suzanne de Katell Quillévéré



© DR

[2013年／フランス／94分／デジタル／カラー]
監督：カテル・キレヴェ
出演：サラ・オフレステイエ、フランソワ・ダミアン、アデル・エネル

最新作『あさがくるまえ』の公開が待ち遠しいカテル・キレヴェの前作で、奔放に生きる女性とその家族との関係を描いている感動作。映画は幼いスザンヌが他の子達と一緒に舞台でダンスする微笑ましい場面から始まる。母親は既に他界し、姉妹はトラック運転手として働く父親に育てられている。時が過ぎ、スザンヌは高校生となっている。ある日、学校に呼び出された父親は、スザンヌが妊娠しており、墮胎するには既に手遅れであることを知らされる。やがてスザンヌは男の子を生むが、好きな男ができると子供を父親のもとに残したまま消息を絶つ……。2013年カンヌ映画祭 批評家週間オーブニング作品、フランス映画祭2014年上映作品。

◆フランス映画祭2017 団長 カトリーヌ・ドヌーヴ主演作品 Hommage à Catherine Deneuve, marraine du FFF2017

暗くなるまでこの恋を La Sirène du Mississippi de François Truffaut



©1969 Les films du Carrosse / Les Productions Artistes Associés / Production Associate Delphos

[1969年／フランス、イタリア／123分／デジタル／カラー]
監督：François Truffaut 出演：ジャン=ポール・ベルモンド、カトリーヌ・ドヌーヴ
配給：マーメイドフィルム

アメリカのノワール系作家ウイリアム・アイリッシュ（別名：コーネル・ウールリッチ）の名作「暗闇へのワルツ」をベースにしてフランス・トリュフォー監督が華麗な映像美でみせるラブロマンス・ミステリーの傑作。ヌーヴェル・ヴァーグの代表作ともいえるジャン=リュック・ゴダール監督の歴史的傑作『勝手にしゃがれ』（60）で主人公の破天荒な生きざまを表現し、一躍フランスを代表する大スターの地位を確立したジャン=ポール・ベルモンドとカトリーヌ・ドヌーヴの2大スターの共演。南の島レユニオンからスイスの雪山までヨーロッパ縦断の壮大なロケを行った恋愛映画の決定版。イヴ・サンローランのゴージャスな衣装を身にまとう若きドヌーヴのミステリアスクールな存在感も必見！

◆アラン・ドロン デビュー60周年記念特別上映 60ème anniversaire de la carrière d'Alain Delon

スター・チャンネル presents チェイサー Mort d'un pourri de Georges Lautner



© 1977 - PATHÉ RENN PRODUCTION

[1977年／フランス／124分／デジタル／カラー]

監督：ジョルジ・ロートネル
出演：アラン・ドロン、モーリス・ロネ、オルネラ・ムーティ、ミレーユ・ダルク、ステファーヌ・オードラン
提供：スター・チャンネル

グザヴィエは代議士の親友フィリップから、セラノという議員を殺してしまったことを打ち明けられ、アリバイ工作に協力することを承諾する。セラノ議員殺害の背景に、政界を揺るがす“セラノ文書”が関わっていることを知ったグザヴィエは、フィリップの愛人ヴァレリーからこの文書を入手するが、今度はフィリップが何者かに殺されてしまう。友人の復讐を果たすことを決意するグザヴィエだが、彼にも魔の手が忍び寄る…。残されたフィリップの妻、謎めいた過激派に属する弁護士、ごろつき、そして裕福な実業家——それぞれの思惑が錯綜する、アラン・ドロンの渋い魅力が光るフレンチ・ノワールの金字塔。

BS10 スター・チャンネル 大型特集「アラン・ドロンがいっぱい」 フランス映画界のレジェンド アラン・ドロンのデビュー60周年を記念して毎週放送中！
スター・チャンネルでは1月より1年間、53週にわたってアラン・ドロンの出演作53作品を放送する大型特集「アラン・ドロンがいっぱい」を放送中。日曜夜9時に毎週アラン・ドロンの代表作からレアな日本未公開作品までを紹介するスペシャルな企画です。特集「アラン・ドロンがいっぱい」の詳細情報は：<http://www.star-ch.jp/alaindelon/>

◆フランス映画祭25回をふりかえって Best of FFF



© DR

パリ18区、夜 J'ai pas sommeil de Claire Denis

第2回フランス映画祭横浜 1994

[1994年／フランス／109分／35mm／カラー]

監督：クレール・ドゥニ
出演：カトリーナ・ゴルベ、ペアトリス・ダル、アレックス・デスカス

女優をめざしリトニアからパリにやってきた若い娘ダイガは18区の安ホテルで清掃をしながら下宿することに。そのホテルにはカミーユというゲイの青年が愛人ラファエルと一緒に暮らしている。アフリカ系移民のカミーユは精悍な肉体を売り物にゲイ・クラブでダンサーをしている。やがて老女を狙った連続殺人事件の犠牲者がいる。昼も夜も休まず人々が棲んでいるパリ18区で様々な人生が交差する。



© DR

肉体の学校 L'Ecole de la chair de Benoît Jacquot

第6回フランス映画祭横浜 1998

[1998年／フランス、ルクセンブルク、ベルギー／103分／35mm／カラー] *東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品

監督：ブノワ・ジャコ
出演：イザベル・ユペル、ヴァンサン・マルチネス、フランソワ・ペルレアン、ヴァンサン・ランソン

三島由紀夫の同名小説をブノワ・ジャコ監督が舞台現代のパリに移して映画化した作品。パリのモード界で働くドミニクは、裕福な独身女性。離婚も経験し、優雅に気ままな生活を楽しんでいた。ある夜、友人に誘われた入ったゲイバーで、美貌の青年カンタンに出会う。ひと目でカンタンに惹かれたドミニクは自分とはまるで違う世界に生きるカンタンに惜しみなく援助をするが…。



© ciné tamaris 2000

落穂拾い Les Glaneurs et la glaneuse d'Agnès Varda

第9回フランス映画祭横浜 2001

[2000年／フランス／82分／35mm／カラー]

監督：語り：アニエス・ヴァルダ

ある日、パリの市場で道に落ちているものを拾う人たちを目にした監督は、ミレーの名画『落穂拾い』を連想する。落穂拾いとは、農民たちが収穫した後の落ちこぼれた麦の穂を拾い集める貧しい人々の行為で、昔は収穫期には必ず目にする光景だった。田舎ではまだ落穂拾いをしているのだろうか？という疑問にかられた監督は、ハンディカメラを手にフランス各地のさまざまな「現代の落穂拾い」を探しに旅に出る。現代社会を映し出すこの旅はまた、監督自身の内面を映し出していく。現代アートの世界でも高い評価を受ける映画監督アニエス・ヴァルダによるドキュメンタリー。



© DR

素顔のルル Lulu, femme nue de Sôlveig Anspach

第22回フランス映画祭 2014

[2013年／フランス／87分／デジタル／カラー]

監督：ソルヴェイグ・アンスパック 出演：カリン・ヴィアール、ブリ・ラネール、クロード・ジャンサック

就職の面接に失敗したあと、電車を逃したルルは、夫と3人の子供の待つ家には帰らず、何日か自由に過ごすことを決める。計画したわけではなく、自分の気持ちに正直になっただけだ。大西洋岸の街で、ルルは、彼女のように世間からはみ出しそうな人々に出会う。鳥のように自由な男と彼を守ろうとする兄弟たち、退屈した老夫、店長からバカにされつづけるカフェの店員…。こうした出会いは、ルルが忘れていた自分自身を取り戻すきっかけとなつてゆく。自らの人生を少しづつ取り戻す、愛らしく強いルルの物語で原作はエティエンヌ・ダヴォドー著のバンド・デシネ（ヨーロッパの漫画）で、2009年にアングレーム国際漫画祭で優秀作品賞を受賞している。